

## 臨床研究へのご協力のお願い

東京医科大学病院では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け承認の後、学長の許可のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。不参加のお申し出があった場合も、患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。既に解析が完了し、個人を特定できない形で集計されたデータについては、除外できない場合がありますのでご了承ください。

### [研究名称]

非癌性肺検体における Stanniocalcin-1 の発現様式の検討

### [研究の背景と目的]

特発性肺動脈性肺高血圧症 (IPAH) は、肺動脈が狭くなることで血流が障害され、心臓や肺に大きな負担がかかる予後不良の疾患です。現在は血管を拡張する薬物療法が行われていますが、一部の患者さんでは効果が十分ではありません。そのため、IPAH の発症や進行に関わる仕組みを明らかにすることが重要とされています。

これまでの研究により、IPAH では Stanniocalcin-1 (STC1) という物質の発現が増加する可能性が示されましたが、比較対象に肺癌患者さん由来の肺組織を用いていた点が課題でした。本研究では、癌の影響を除外するため、癌ではない患者さんの肺組織を用いて、健常での STC1 の発現分布をより正確に評価することを目的とします。

### [研究の方法]

#### ● 研究対象者となる基準

診断目的に肺切除術が実施された 5 歳から 65 歳までの患者さん

病理診断で肺癌と診断されなかった患者さん  
病理診断で肺全体に広く分布する病変が確認されなかった患者さん

#### ● 研究対象から除外となる基準

病理診断で肺癌と診断された患者さん

病理診断で肺全体に広く分布する病変が確認された患者さん

病理組織の保存状態が解析に適さない患者さん

#### ● 対象期間

2011年4月1日～2025年3月31日

●研究期間

研究機関の長の許可日から2028年3月31日

●利用する検体やカルテ情報

過去に診断目的に採取され保管されている肺組織検体の残余部位を用いて、免疫染色による評価を行います。カルテ情報は年齢、性別、診断区分等の個人を特定できない情報のみを使用します。

●利用を開始する日

2026年04月16日

●検体や情報の管理

本研究は、研究対象者等(およびその関係者)の人権および権利利益を保護するため、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」ならびに関連する各種ガイドラインを遵守し、適切な個人情報の管理を行います。

本研究で取り扱う情報は、研究目的の達成に必要な最小限の範囲に限定し、年齢、性別、診断区分等の個人関連情報のみを用います。氏名や診察券番号など特定の個人を直接識別できる情報は、病理診断科において加工し研究用IDを付与します。加工に用いた対応表は分野内で厳重に管理し施錠可能な保管場所に保管するとともに、研究機関外への持ち出しや、研究に関与しない者による閲覧を防止します。

[実施体制]

●研究責任者

横山 詩子(東京医科大学 細胞生理学分野 主任教授)

●研究分担者

小神 真梨子(東京医科大学 呼吸器内科学分野 助教)

日高 祐子(東京医科大学 細胞生理学分野 助手)

長尾 俊孝(東京医科大学 病理診断科人体病理学分野 主任教授)

[問い合わせ先]

所属:東京医科大学 医学部 細胞生理学分野

担当者:研究責任者 横山詩子

電話番号:03-3351-6141

電子メール:uyokoyam@tokyo-med.ac.jp